

あとがき

今年は東京も厳しい寒さの冬となりました。インフルエンザも昨年に比べて少なく、このまま流行が終息してくれれば幸いです。また、流行を繰り返しているノロウイルス胃腸炎も昨年より少ないようです。ノロウイルスは牡蠣が原因とされてきましたが、現在流行しているGⅡ/4株は牡蠣からの分離は少なく、主にヒト→ヒト感染によって流行していると考えられます。ノロウイルスは人間以外の動物には感染せず、培養細胞でも増殖しません。このため現在は培養も感染モデルも不可能なため診断は遺伝子検査が中心でした。しかし、臨床の現場ではもっと迅速で簡便なノロウイルスの検出法が渴望されています。本号の“技術講座”ではノロウイルスの免疫学的検査法を解説していただきました。ノロウイルスが疑われる患者さんの取り扱いでは多くの医療機関が苦慮していると思います。嘔吐が強いので一見重症にみえますが、ほとんどは発症から2~3日で嘔吐や下痢などの症状は消失します。吐物を誤嚥して肺炎を併発した例などを除いて重篤になることは極めて稀です。このため患者さんに十分病気の説明を行い、できるだけ入院させず、外来で補液などの処置を行って帰宅させることが病院感染対策上重要です。

本号は“病気のはなし”では「皮膚癌」と「脳梗塞」を取り上げました。「皮膚癌」ではダーモスコピーによる腫瘍の拡大観察とコンピュータ処理による新しい診断法が話題となっています。また「脳梗塞」は血栓溶解療法の導入により治療が劇的に改善されました。“技術講座”では、先に述べた「ノロウイルス迅速抗原検査」と、基本的知識として重要な「自動白血球分析装置におけるヒストグラムの見方」を取り上げました。わが国の医療は「医療費抑制」を最重要課題として大きな変革期を迎えています。臨床検査の分野も厳しい状況に置かれており、状況は悪化の一途をたどっていますが、「患者にとって質の高い医療」を提供するためにこれからも頑張ってください。

(菅野治重)

4月号予告

第36巻4号(2008年4月号)

病気のはなし

抗リン脂質抗体症候群——家子正裕
技術講座

末梢血におけるマラリア原虫の検出——大友弘士
血漿β-トロンボグロブリン、血小板第4因子

——大川龍之介

臨床化学基礎シリーズ・1

臨床化学に必要なパラメーター総論——関口光夫
オピニオン

チャンスを生み出せ——上道文昭

疾患と検査値の推移

デング熱——大西健児

ワンポイントアドバイス

環状鉄芽球の重要性とその同定——大倉 貢, 他
臨床医からの質問に答える

感染症の遺伝子検査

(B型肝炎ウイルスの遺伝子解析)——行正信康, 他
Laboratory Practice

脳波検査のステップアップ・5

脳波信号と雑音—ハム混入の少ない

きれいな記録を得るために——橋本修治

一般：尿沈渣検査の自動化——伊瀬恵子, 他

PA制度の現状と将来——村田哲也

診療支援：検査用水の品質——金沢旬宣

管理：臨床検査システムの標準化に関する一考察

——清水一範, 他

私の一押し免疫染色/一般検査室から 私の一枚/
ラボ・クイズ/トピックス/他

ラボ・クイズ正解者

第36巻1号(2008年1月号)

信夫和利(登米市)/田丸盛夫(川口市)/寺
井弘江(埼玉県毛呂山町)/中村佐和子(東京
都)/重泉英子(横浜市)/角田明美(岐阜
市)/近藤直美(岐阜市)/古田治(岐阜県白
川町)/山際彩子(愛知県武豊町)/田中浩
平(富田林市)

●編集委員

菅野 治重
(編集主幹)

伊瀬 恵子

桑 克彦

曾根 伸治

高木 康

手島 伸一

永江 学

矢富 裕

(五十音順)

検査と技術

2008年3月1日発行(毎月1回1日発行)

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%)

年ぎめ予約購読料 19,450円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通

(03)3817-5659

振替口座

00170-9-96693

印刷

(株)アイワード (011)241-9341

広告申込

(株)東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JICLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・小藤・渡邊・小松原)